

議長職における引継ぎ事項について

1. 電子採決システムの導入・運用や、ペーパーレス会議システムを活用した「議案書及びその関係資料一式」のデータによる配付など、議会においては一層のDX化が進んでいる。
 今後は、当初予算書、決算書、及びその付属資料についても、執行部と様式等の調整を図りながら「完全データ化」を進めると共に、そのフォローとして、導入したICT機器・アプリケーションなどを議員自身が有効に活用できるよう、議員研修を開催するなど、議会全体でスキルアップを図ること。
2. 引き続き、議会報告会(フリースピーチを含む)や各種団体との懇談会、及び高校生議会など、「市民からの意見聴取」に力点を置いた機会創出を積極的に行うと共に、その聴取方法や内容等について充実を図ること。
3. 議会広報広聴機能の強化のため、地域団体が開催する行事・イベントに参画するなど、引き続き、一層の積極的な「アウトリーチ事業」に取り組むと共に、企画のブラッシュアップなどを行うこと。
 特に、議会として初の試みである、「小学校への出前授業」については好評を得ており、各小中学校や高等学校など多方面からも実施要請が来ていることから、内容の充実強化を図り、当該事業の推進をすること。
4. 多様な人材が議会に参画できるよう、環境整備を図ると共に、議会広報においては、多世代に情報が伝わるようSNSなどの様々な媒体を活用した情報発信を引き続き強化していくこと。
5. 地方議員の成り手不足が全国的に課題となっている状況を鑑み、その処遇改善として、本市の「議員報酬」について、報酬審議会の開催に向けた働きかけをすること。

令和7年6月26日

可児市議会議長 澤野 伸